

農村工学研究部門が実施する技術研修の紹介～若手技術者の育成～ (農村工学基礎技術研修(第1回))

技術移転部 技術研修室

関東地方もこれから夏本番を迎えようとしていますが、農村工学研究部門では、5月より「農村工学基礎技術研修(第1回)(5/19～7/20)」を開催しています。

この研修の対象者は、農林水産省及び北海道開発局、沖縄総合事務局に入省して2～5年目の農業農村整備事業に携わっている若手技術系職員であり、今、受講している17名は日頃、調査管理事務所、国営事業所等で活躍している職員です。

研修目的は、農業農村工学に関する業務内容の全般を広く理解してもらうことで、前向きに業務を進めていくための必要となる知識と技術を身につけることです。そのためのカリキュラムは座学と実習で構成し、各研究領域のそれぞれの分野の研究員が講師となって指導しています。

主な科目は次のとおりです。

- ・水理学、土質力学、構造力学、数学
- ・水理実験実習、測量実習、土質試験実習、コンクリート試験実習、設計演習
- ・コミュニケーション力・プレゼンテーション力養成のための事例研究発表

研修は中盤にさしかかっていますが、講義終了後及び実習レポート作成時には、わからないところは研修員同士で相談するなどの良い雰囲気があり、知識習得の場ができていると感じています。

7月の研修後半戦は、普段職場で目にする擁壁等の構造物設計の計算チェックに役立てもらう設計演習や、打合せ時のプレゼンテーション力を身につけてもらうための事例研究発表の準備となります。研修生も時間に追われる状況となることが予想されますので、技術研修室として、引き続き新型コロナウイルス感染症への感染対策を講じて、研修生が安心して受講・寮生活ができるよう後方支援に努めてまいります。



技術移転部長による講義

水理実験実習

測量実習

土質試験実習